

## 概要

- **日程・場所**：2024年10月10日（木）～11日（金）（於：イタリア・アンコーナ）
- **参加国・機関**：G7、招待国（アルバニア、ブラジル、インド、サウジアラビア、南アフリカ）、国際機関（FAO、WHO、OECD）  
※我が国からは、迫井医務技監が出席。
- **主な成果**：
  - ・ ①～③の優先課題に関する参加国のコミット等を盛り込んだ**G7保健大臣コミュニケ**をとりまとめ。
  - ・ また、優先課題②に関連し、**AIに関するG7ポリシーブリーフ（保健医療セクターへの機会と課題）**を公表。
    - ※優先課題…① グローバルヘルス・アーキテクチャー（GHA）と将来のパンデミックへの予防・備え・対応（PPR）の強化
    - ② 生涯にわたる疾病予防を通じた健康的でアクティブな高齢化とイノベーション
    - ③ ワンヘルス・アプローチ（特にAMR（薬剤耐性）、気候変動）
  - ・ 併せて、財務・保健連携の観点から、**G7財務大臣・保健大臣合同会合**が開催され、我が国からは迫井医務技監に加え、三村財務官（財務省）がオンライン出席。

## G7保健大臣コミュニケの概要

- **第1章：グローバルヘルス・アーキテクチャー（GHA）と将来のパンデミックへの予防・備え・対応（PPR）**
  - ・ 将来のパンデミックへの予防・備え・対応のため、GHAのガバナンス及び財務強化へコミットする。
  - ・ PPRに関して、いわゆる「パンデミック条約」の交渉が妥結するよう、政府間交渉会議における議論に貢献していく。
  - ・ G7は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を推進し、世界的なパンデミックに対するPPRを強化し、経済成長とイノベーションを促進するために、アフリカにおける医薬品製造能力の強化に向けた取組を引き続き支援。
  - ・ Mpoxに対処するためのグローバルな協調の重要性を強調するとともに、コンゴ民主共和国における流行に対して、WHO等の関係機関と協力して取り組む。
- **第2章：生涯にわたる疾病予防を通じた健康的でアクティブな高齢化とイノベーション**
  - ・ 心身ともに健康でアクティブな高齢化を促進するため、運動や健康的な食事、予防接種を含む広義の健康増進の重要性を再認識する。
  - ・ 女性、子供、高齢者、障がい者等を含むすべての人が必要なケアを受けられる医療システムを構築する。そのために科学的根拠に基づく研究や政策、医療従事者の雇用環境の改善、AI等のイノベーションの活用の重要性を強調する。
  - ・ 2025年3月にパリで開催される「成長のための栄養サミット」について、拡大する栄養危機に対処するための世界的なコミットメントへの重要な機会として歓迎する。

## G7保健大臣コミュニケの概要（続き）

## □ 第3章：ワンヘルス・アプローチ

- AMR及び気候変動、汚染、生物多様性の損失の3つの危機が人・動物・植物・環境に及ぼす複雑な課題に対処するため、様々なセクターによるワンヘルス・アプローチの重要性を認識する。
- 抗菌薬の慎重かつ責任ある使用の重要性を再確認するとともに、特に低中所得国において、既存および新規の必須抗菌薬と効率的な診断への持続可能かつ公平なアクセスを促進する。
- 「気候と健康に関する変革的行動のための同盟（ATACH）」などのイニシアティブを通じて、学際的な研究、部門間の連携、ベストプラクティスの共有を強化することの重要性を認識する。

## AIに関するG7ポリシーブリーフ（保健医療セクターへの機会と課題）の概要

- 医療分野における人工知能（AI）の導入は、医療従事者、患者、政策立案者、その他の関係者にとって、業務効率と医療の成果を向上させる大きな機会。
- 医療におけるAIの使用を、その可能性を最大限に促進し、個人・集団・公衆衛生における質と成果を改善し、ケアの時間と医療従事者らの交流を確保し、ケアへのアクセスにおける不平等と格差を減らし、医療従事者の負担を軽減させるための決意を表明。
- AIを安全かつ確実に、信頼して使用できるようにするために、オープンデータイニシアティブや、FAIR原則（検索可能、アクセス可能、相互運用可能、再利用可能なデータ）に基づくイニシアティブを通じて、研究者が大規模なデータセットにアクセスしてAIモデルをトレーニング、調整、テストできるようにし、応用研究を推進して研究者と開発者の間のイノベーションとコラボレーションを促進することが必要。
- 「広島AIプロセス包括的政策枠組み」の更なる推進のため、2023年のG7首脳のコミットメントを改めて表明。
- 医療におけるAIの潜在能力を最大限に活用できるよう、様々なレベルの医療専門家（データ保護責任者（DPO）を含む）と規制当局間の対話を積極的に奨励することにコミット。
- 倫理的配慮はAIの使用にとって極めて重要であり、G7デジタル・テクノロジー作業部会が作成した「公共部門における人工知能のためのG7ツールキット」を歓迎。